
怪傑！「珍」事件簿 第二話

セイデンワコウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怪傑！「珍」事件簿 第二話

【Nコード】

N8246P

【作者名】

セイデンワコウ

【あらすじ】

これは、最高裁判所判事の我輩が、磯つりに勤しんでいた頃、珍事件に下した判決の事例集である。
およそ99%がノンフィクションによるものである。

これは、最高裁判所判事の我輩が、磯つりに勤しんでいた頃、珍事件に下した判決の事例集である。

およそ99%がノンフィクションによるものである。

第二話 『若葉マークの巻』

この事件が起きてから何年の年月が過ぎただろうか・・・

佐野がまだ若かりし頃、そう・・・まだ東田とも一緒に釣行した事もない頃の話である。

その頃、佐野は毎週のように磯に通い、自らの技術を磨こうと切磋琢磨していた。まだ一緒に釣行するメンバーも確立しておらず、佐野は、まわりの素人軍団を誘っては、磯釣り友達を作ろうとしていた。

そんな素人軍団の中にあの小村がいた。彼は、磯釣りは初めてであったが、波止釣りには何度か釣行していたようである。これ幸いと、佐野は、小村とビギナー数人を誘い、半ばピクニック気分で磯へと出かけることにした。

面倒みの良い佐野は、他のメンバーのために「道具」「竿」「食事」と、一から十まですべての用意をこなし、万全の体制で出発に臨んだ。参加メンバーには女性もいて、当時独身であった佐野にとっては、胸ふくらむ釣行に間違いはなかった。

「初心者が多いし・・・あまり危険な磯には渡れないな・・・大きな磯で足元のいい所がいいだろう」と、心の中でつぶやく佐野。

そのころ、自称「波止釣り名人」の小村も、

「女性もいるし、トイレの問題が気になるな・・・」、女性にやさしい小村は、細やかな心使いを、彼の胸に秘めていた。

どうしてもトイレのことが気になる小村、しかし、どう対処していいかわからない。この問題を解決しなければ、

「俺の正義感に傷がつく」とまで思いを高ぶらせていた。

「やはり、佐野さんに相談して、問題を解決しよう!!」と、心に決意し、彼は佐野に質問することにした。

「佐野さん。今度の磯は大きくて安全なんですよ」

「大丈夫やで! 二十人は乗れる大きな磯や! 心配いらんで! 女の子もいてるしな・・・」

「磯は船で渡るんですよ?」

「そうや! 渡船屋が渡してくれるよ!」

「一つ質問してもいいですか?」

「何や? 改めって。なんか心配事でもあるの?」

「実は・・・女の子が一緒なんで・・・」

「なんか? まずいか? 別に下心ないで」

少し弱気になる佐野がいた。

「いやゝそんだけ大きな磯だったら・・・」

「公衆トイレ付いてますよね!!」

さすがの佐野もこの問題は解決できなかった。

判決…公衆トイレ設置義務違反

渡船屋さんを書類送検

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8246p/>

怪傑！「珍」事件簿 第二話

2011年1月4日03時30分発行